

世界史B

B 第一次世界大戦が勃発すると、日本は、連合国の一員として参戦した。列強の関心はヨーロッパや④中東に集中し、東アジアや東南アジアへの関心が弱まった。このため、とくに、⑤中国や太平洋海域では、列強に代わって日本の影響力が強まった。しかし、第一次世界大戦後には、⑥ワシントン体制と呼ばれる国際秩序が構築され、日本も国際協調を進めた。

問4 下線部④に関連して、第一次世界大戦でイギリスは中東地域に積極的に関わる協定や宣言を発表した。このことについて述べた次の文章中の空欄 **ア** ~ **ウ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。 **4**

イギリスは、大戦中、**ア** によってアラブ人のオスマン帝国からの独立を約束する一方、**イ** によって、パレスチナに民族的故郷を建設しようとするユダヤ人の運動を支援する姿勢を示した。しかし、他方、**ウ** によって、フランスやロシアとオスマン帝国領の分割も協定していた。

- | | | |
|---|---|-------------|
| ① | アーバルフォア宣言
ウーフセイン・マクマホン協定(書簡) | イーセーヴル条約 |
| ② | アーローザンヌ条約
ウーパリ協定 | イーバルフォア宣言 |
| ③ | アーパリ協定
ウーセーヴル条約 | イーサイクス・ピコ協定 |
| ④ | アーサイクス・ピコ協定
ウーフセイン・マクマホン協定(書簡) | イーパリ協定 |
| ⑤ | アーセーヴル条約
イーフセイン・マクマホン協定(書簡)
ウーローザンヌ条約 | |
| ⑥ | アーフセイン・マクマホン協定(書簡)
ウーサイクス・ピコ協定 | イーバルフォア宣言 |